

式 辞

柔らかな日差しを浴びて 木々のつぼみもふくらみを増し、春の訪れを感じる このよき日に、PTA 会長〇〇〇〇様 のご出席を賜り、令和4年度 埼玉県立熊谷西高等学校 第46回卒業証書授与式を挙行できますことは、本校にとりまして大きな喜びであります。

ただいま、卒業証書を授与されました普通科、理数科併せて322名の皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。

卒業生の皆さんが入学した1年生の時は、新型コロナウイルス感染症の影響で、日本全国が臨時休校からのスタートでした。学校が再開されてからも分散登校が続き、全ての教育活動が大きな制約を受ける中で実施されました。一昨年度は、文化祭も中止せざるを得ませんでした。しかし、昨年度、今年度と創意・工夫しながら、少しずつ例年に近い形で教育活動を行えるようになり、皆さんは日々の授業や学校行事、生徒会活動、部活動などに主体的に、意欲的に取り組んできました。一生涯続く友人関係も築くことができたかと推察します。

知恵を出し合い、協力し合って今日という日を迎え、学校としても社会としてもようやく出口が見えてきました。3年間のすべての経験が 卒業生皆さんの思い出となり、糧となり、財産となって、今後の人生に生かされることを願っています。

次に、この1年間で感じた西高の特に素晴らしい点と、それに関連する皆さんへのメッセージを大きく2つ伝えます。

1つ目は、全校体制で取り組む探究活動・課題研究についてです。探究・研究した成果を全員が各クラスで発表し、さらに学年や全校生徒の前で発表した人、さらに全国大会やアジア大会で発表した人もいました。西高の探究活動や課題研究、発表会で習得した思考力・判断力・表現力は、進学先や就職先で大きな力を発揮することでしょう。卒業生全員がそれだけの経験を積んできました。卒業後も様々な事柄に興味・関心を抱き、自信をもって探究し続けてください。

これから進学先で学ぶ学問をはじめ、就職先での仕事や日常生活、社会情勢、環境問題、世界情勢など、目を向けるべき対象はたくさんあります。向上心を持ち続け、自らを高めるとともに、皆さんの知恵と経験を周囲の方のため、そして社会のために役立ててもらえれば幸いです。

続いて2つ目は、文化祭の出し物である3年生のクラス劇です。クラスの全員が協力して、1つの目標に向かって内容の濃い、レベルの高い劇を作り上げました。主役だけでなく、脇役、シナリオライター、音響担当者、絵を描く人、小道具をつくる人、背景幕を舞台の後ろから支える人などなど、役割分担して各自がもてる力を存分に発揮しました。クラスの一体感、協力する姿がとても素晴らしかったです。一人でできることには限界があります。もっと大きな言い方をすれば、人間は一人では生きていけません。誰もが多くの人に支えられ、日々の生活を送っています。このことを改めて意識するとともに、今後も仲間と協力し、助け合う気持ちを忘れずに、様々なことにチャレンジしてほしいと思います。

さて、世界情勢が刻一刻と変化していく現代という時の流れの中で、現在のウクライナの惨状を、また世界各国の状況や経済の変遷を1年前に予測できた人は、ほとんどいなかったと思われます。宇宙から見れば地球は1つであり、宇宙を航行する丸い大きな乗り物、宇宙船のようにも見えます。私たち人類は「宇宙船地球号」の同じ乗組員として助け合い、共存・共栄することが求められているのではないのでしょうか。平和を希求し、大切な地球環境をこれ以上、破壊することなく守っていくことが私たち人類一人一人の責務でもあります。過去は変えられません。しかし、未来は変えていくことができます。熊谷西高校 卒業生としての誇りを胸に、志を高く持ち、英姿颯爽と輝ける未来を築いていってください。

結びに、ご臨席いただきました保護者の皆様におかれましても、お子様のご卒業を心から、お祝い申し上げます。おめでとうございます。18年間、大変お疲れ様でございました。いろいろな思いが去来していると推察します。また、この3年間、本校の教育活動に多大なるご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。ご家族や地域の皆様のご協力がなければ、学校教育は成り立ちません。卒業生の皆さんもこのことを心に刻み、感謝の気持ちを忘れないでください。

本日、卒業する皆さんが幸せな人生を歩み、明るい希望に満ちた未来を築かれることを、心より祈念するとともに、ご臨席を賜りましたPTA会長〇〇様、保護者の皆様をはじめ、本校にかかわるすべての皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念し、式辞といたします。

令和5年3月16日 埼玉県立熊谷西高等学校長 金室 紀夫 (約1800字)